



こんにちは **高橋しげのり**です

日本共産党かほく市議会議員

メール shige\_takahashi1951@yahoo.co.jp

携帯 090-2030-1756



フェイスブック

2025年8月10日第542号

高橋 ☎285-1756 FAX285-1758

かほく市遠塚1149-1 あなたの

ご意見などを寄せ下さい

# 被災者支援コンサート



被災者支援コンサート(写真上)、演奏に合わせて「ふるさと」を合唱(写真下) かほく市七塚健康福祉センター

能登半島地震被災支援コンサートが8月3日、かほく市七塚健康センターで開かれ、約60人が参加。伊田直樹さんと百々女木バラック合奏団。大人から子どもまでクラシック演奏を楽しみました。

能登半島被災者共同センター主催で、かほく市で被災者支援のコンサートと支援物資のお渡し会を行いました。

金沢市の百々女木(どどめき)バラック合唱団(伊田直樹代表)18人が、被災者に弦楽器の音色を届けました。コンサートはかほく市が後援し、油野和一郎市長からあたたかいメッセージが寄せられました。共同センターの黒梅明事務局長があいさつし、「仕事がない、家を建てるお金がないなどの理由で能登に

住み続けたいが住み続けられない」など、被災者の声を紹介。「能登に住み続けたいというみなさんの思いを実現するために国の支援が必要です。そのためにも私たちは運動を続けたい」と述べました。コンサートでは合唱団が、聞きなれた曲をバイオリンやチェロなどで演奏し、最後は「ふるさと」を参加者が一緒に歌いました。当日の支援物資は共同センターと、かほく市から提供(全国各地から)されました。市の社会福祉協議会など、たくさんの皆さんのご協力を頂きました。



名前「はな」女の子、チャイム音が鳴ると隠れてしまいます。本棚にルンルン



## 被災された方々の思いに心寄せて

能登半島地震発生から1年8カ月が経過していますが、奥能登から、かほく市に住民票を移し方が250人余。復旧・復興は、まだまだ時間がかかります。住まいの復興とともに人々の暮らしの復興が必要です。世界の国々の災害対策からしても日本は、立ち遅れています。国の抜本的な対策が必要です。被災された方々が一日も早く日常生活が取り戻せるよう、これからも一緒に取り組んでいきたいと思ひます。(高橋)

## 【参加者みなさんの声】

- 参加した人から良かったと言われ、元気が届けられよかったです。(演奏に参加した中学生)
- 支援物資は助かります。みんなで奏でる音楽が良かったです。(男性)
- 知らない土地で一人暮らしで話し相手が欲しいです。(女性)
- 不安なことは、これからの住宅ローンのことです。(女性)
- 高齢のため健康が一番不安です。(男性)
- 子どもが精神不安になり通院しています。年金生活で不安があり、何か支援してほしい。(女性)
- 復興がなかなか進まないのが不安です。(女性)
- 30余り方々からアンケートが寄せられました。